

## 1. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

世界の工業生産は、長い間、西ヨーロッパや北アメリカ、日本などの先進国が中心となっていたが、近年ではとりわけ (1) (2) と呼ばれる特定の新興国やASEAN諸国などでの生産の伸びが著しい。アジアの工業化を振り返ると、1970年代以降、(3) (4) と呼ばれる韓国、台湾、香港、シンガポールで、続いてタイや(ア)マレーシアなどのASEAN諸国で、(5) (6) の工業化が大きく発展した。1995年にASEANに加盟した(7) (8) では、後発加盟国のなかでもいち早く工業化が進み、高い経済成長を実現している。また、(1) (2) には(イ)世界の人口の上位2カ国が含まれるが、その一つである中国の場合、工業付加価値額が2010年頃に初めて米国を抜いて世界第1位になった後も大きく増加し、今では(9) (10) と呼ばれるほどである。もう一つの国であるインドの場合、自動車産業などの製造業も成長してきたが、特に特徴的なのは(11) (12) 産業の急速な発展である。その代表的な都市の一つであり、(ウ)インド南部の高原にある(13) (14) は、米国にある(11) (12) 産業の集積地の通称にちなんで、インドの(あ)と呼ばれることもあるほどで、(11) (12) 産業は現在のインドの経済成長を牽引する重要な産業となっている。なお、2017年頃のインドの(11) (12) サービスの輸出額を見ると、その約(15) (16) を輸出先ランキング第1位と第2位の英語圏の国が占めており、2番目に輸出額の大きい輸出先は(17) (18) である。

工業における技術進歩や産業構造の変化は、環境に関する規制への対応から進むこともある。世界の自動車生産台数の推移をみると、特に2000年以降中国での生産が急増し、2010年代末の時点で、生産台数が中国に次いで世界第2位や第3位の(19) (20) や(21) (22) (順不同)と比べても、中国での生産台数はそれぞれの国の生産台数の(23) (24) 倍に相当するほどである。このような自動車産業では、環境への配慮として、近年、ガソリン車からガソリンを使用しない(25) (26) への転換が積極的に推し進められている。現在、中国は自動車生産台数だけでなく、(25) (26) の保有台数でも世界最大である。

上述してきたようなアジアの工業化には、多国籍企業をはじめとする外国企業の積極的な誘致の影響も大きい。また、製品の生産が一国のなかで完結しているわけではなく、国際貿易を通じて(エ)国境を越えた部品の供給や調達を行うような(27) (28) が発達している。ASEAN内外のつながりに着目すると、1993年、ASEANは域内の関税を引き下げて地域経済統合をめざす(29) (30) を発足させた。同じ頃、ヨーロッパでは(い)条約の発効にともなって(31) (32) がEUに改組され、さらなる地域統合をめざすことになったが、EUでは単一通貨の導入や(33) (34) の設定が行われているのに対し、ASEANの場合には、各国の主権が尊重され、それらの導入や設定はしていない。近年、ASEANはより広域な経済連携枠組みにも参加しており、その一つが2020年に署名された(35) (36) 協定である。2020年の時点でこの協定に署名しているのは(37) (38) カ国であり、これらの国々で、世界の人口・GDP・貿易総額のそれぞれ3割程度を占めるほど大規模な枠組みとなっている。また、中国の対外的なつながりに目を向けると、中国は、2013年に、広域経済圏の構築を推進しようとする一帯一路構想を提唱すると、2015年には、中国が主導する形で、国際開発金融機関である(39) (40) を発足させて、発展途上国への投資や経済援助を強化している。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (39) (40) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

## 《語群》

11 1/4 (4分の1)	12 1/2 (2分の1)	13 3/4 (4分の3)	14 1～2
15 2～3	16 3～4	17 11	18 15
19 16	20 ADB	21 ADBI	22 AEC
23 AFTA	24 AIIB	25 APEC	26 AU
27 BRICS	28 CPTPP	29 EC	30 ECSC
31 EEC	32 G20	33 ICT	34 LDCs
35 RCEP	36 アジアNIEs	37 イギリス	38 医療
39 インド	40 オーストラリア	41 家内制手工業	42 観光
43 韓国	44 カンボジア	45 共通効果特惠関税	46 共通の域外関税
47 国際分業	48 国内回帰	49 市場指向型	50 シンガポール
51 成長のトライアングル	52 世界の工場	53 チェンナイ	54 知識集約型
55 電気自動車	56 ドイツ	57 日本	58 ハイブリッド車
59 漢江 (ハン川) の奇跡	60 フレックス燃料車	61 米国	62 ベトナム
63 ベンガルール	64 ミャンマー	65 ムンバイ	66 輸出指向型

問2 本文中の (あ) と (い) に当てはまる最も適切な語句は何か。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

問3 下線部 (ア) に関して、中国系住民の経済力が強いこの国で、政府がとってきた先住民族優遇政策を何と呼ぶか。解答は、解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問4 下線部 (イ) について、世界の人口は現在70億人を超えているが、人類が常住し、生活を営んでいる地域を何と呼ぶか。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

問5 下線部 (ウ) に関して、このインド南部の高原には玄武岩が風化した肥沃な土壌が分布しているが、この間帯土壌を何と呼ぶか。解答は、解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問6 下線部 (エ) に関連して、メキシコでは、米国との国境沿いを中心に、メキシコの安価な労働力を活用し、税制の優遇を受けて輸出向けの生産を行う保税輸出加工区が設置されてきた。このような地区のことを何と呼ぶか。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

## II. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催された大阪は、古くから「商人の町」として発展してきた。江戸時代には、全国から米が集められ、現代では「先物」と呼ばれる先進的な取引が行われる市場も作られた。そうした歴史を反映してか、大阪には商都と呼べる姉妹都市が多い。

大阪の米国における姉妹都市は、世界の穀物市場に大きな影響力を持つ商品取引所があるシカゴである。シカゴが面するミシガン湖は、世界有数の (41) (42) である。ミシガン湖など五大湖の周辺には、伝統的に酪農が盛んな (43) (44) と呼ばれる地域があるが、カナダから続く (45) (46) の一部であり、気候も冷涼なため、穀物生産に適さない場所が多い。にもかかわらず、シカゴが穀物市場として発展したのは、アイオワ州などの米国中部には (47) (48) と呼ばれる農業生産地域が広がっているため、その製品の集散地となったからである。(ア)米国の農業は一般に大規模で、効率性を追求する (49) (50) である。生産から流通、販売までの一連のプロセスを手掛ける (51) (52) と呼ばれる企業は、世界の農産物市場に強い影響力を持つ。シカゴの街の形状的な特徴は、中心部がニューヨークや北京などの大都市でも見られるような (53) (54) の構造を持つことである。五大湖の沿岸には、米国自動車産業の伝統的な中心都市である (55) (56) や、カナダ最大の都市である (57) (58) などの都市もある。

ラテンアメリカにおける大阪の姉妹都市は、ブラジルのサンパウロである。ブラジルは南米最大の人口を持ち、欧州系の住民と共に、アフリカ系と欧州系の混血である (59) (60) と呼ばれる人々が人口の多くを占めるとい特徴もある。サンパウロもまた、農産物の集積拠点として発展した歴史を持つ。同市の発展に特に大きな役割を果たしたのは、ブラジルが世界最大の生産量を誇り、ベトナムやインドネシア、コロンビアなども主要生産国である (61) (62) である。ブラジルが世界最大の生産・輸出国である農産物としては、ブラジル高原で大規模に生産され、中国が飼料用として多く輸入する (63) (64) もある。ブラジル高原に広がるサバナは (65) (66) と呼ばれる。今日のサンパウロは多くの産業を持つ巨大都市であり、世界有数の航空機メーカーの本社もある。一方で、(67) (68) と呼ばれるスラムが大きく広がり、貧富の格差が古くからの問題としてある。なお、ブラジルの現在の首都は、計画都市として著名な (69) (70) である。

中国における大阪の姉妹都市は上海である。上海の位置する長江流域には、(71) (72) や南京などの大都市もある。上海もまた、商都としての性格を強く持つ都市である。とりわけ、(73) (74) に指定された1970年代末以降の発展は目覚ましく、上海港は貿易における中国の玄関口として、(イ)英国から返還された香港を抜き去り、世界最大のコンテナ取扱量を持つに至っている。こうした発展は、上海をはじめとする沿海部と内陸部の経済格差を大きく広げることとなった。格差の是正を目的として、中国政府によって2000年に打ち出された政策を (75) (76) という。広大な国土を持つ中国は、地域的な多様性の大きな国である。食文化を例にすると、秦嶺山脈や (77) (78) を境界とする農産物の違いにより、伝統的な主食が北京周辺などの北部では (79) (80) であるのに対し、上海の周辺では (81) (82) である。

この他にも、大阪の姉妹都市には、(ウ)ドイツのハンブルグやイタリアのミラノ、(エ)オーストラリアのメルボルンなど、それぞれの国の首都ではないものの、経済的に大きな役割を果たしている都市が多いことは興味深い。

問1 文中の空欄 (41) (42) ～ (81) (82) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

## 《語群》

11 一帯一路	12 塩湖	13 オタワ	14 カカオ
15 企業的農業	16 キャッサバ	17 経済技術開発区	18 経済特区
19 黄河	20 コーヒー	21 コーンベルト	22 穀物メジャー
23 コットンベルト	24 ゴム	25 小麦	26 米
27 混合農業	28 サトウキビ	29 サルヴァドル	30 サンベルト
31 集約的農業	32 珠江	33 西部大開発	34 セラード
35 セルバ	36 扇状地	37 大豆	38 大連
39 卓状地	40 楯状地	41 タロイモ	42 直交路型
43 デイリーベルト	44 デトロイト	45 天津	46 東方政策
47 特別行政区	48 トロント	49 ハーレム	50 バラック
51 パンパ	52 ピッツバーグ	53 氷河湖	54 ファベラ
55 フィラデルフィア	56 武漢 (ウーハン)	57 ブラジリア	58 プラナカン
59 プランテーション	60 フロストベルト	61 放射環状路型	62 放射直交路型
63 ホワイ川 (淮河)	64 三日月湖	65 ムラート	66 メスチゾ
67 モントリオール	68 ライ麦	69 ランドラッシュ	70 リオデジャネイロ

問2 下線部 (ア) について、米国の農業で見られるように、土壌や気候などの自然条件や社会条件の違いに応じて、地域間で農作物を作り分けることを何と言うか。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問3 下線部 (イ) について、香港の返還後も資本主義経済を維持し、50年間は高度な自治を認めるとした中国政府の方針を何と呼ぶか。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問4 下線部 (ウ) について、イギリス南西部からドイツなどを経て、イタリア北部へと連なる欧州の工業集積地帯を何と呼ぶか答えなさい。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問5 下線部 (エ) について、チリや中国などの他の産出国を上回り、オーストラリアが世界最大の産出量を持つレアメタルは何か。解答は解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

## Ⅲ. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

世界には様々な大都市が発達している。大都市の中心部には行政機関や大企業の本社などが集中し、高層ビルが立ち並ぶ (83) (84) が形成される。また、大都市圏では(ア)中心部から業務機能の一部が分散され、副都心や新都心が形成されることがある。広域に影響を与える大都市圏を形成する大都市を (85) (86) と呼ぶ。一方、市街地の拡大により、隣接する複数の都市が連結した都市群を (87) (88) と呼ぶ。

発展途上国では、20世紀後半に大都市が急速に発展しており、(89) (90) に優先的に資本が投下され、経済や政治などの施設が集中し、他の都市の人口規模を大きく上回ることが多い。また、季節労働者や都市への移住者も多いが、都市でも雇用機会が乏しく、低所得者層の多くは路上の靴磨きや物売りなど、公的な許可を受けず、統計上にも記録されない (91) (92) と呼ばれる経済活動に従事することで生計を立てている。

先進国では多くの都市問題がある。(イ)大都市圏ほど多種多様な人々が集まり、多文化社会が形成される。また、(ウ)大都市では地価や物価の高騰などもあり、市街地が都市周辺部に拡大し、農地や緑地の中に住宅や工場施設が無秩序に広がる (93) (94) などが起きる。また、中・高所得者が都心から郊外に流出することで、人口減少や高齢化、低所得者層の増加、治安の悪化などが引き起こされる (95) (96) や、人口減少に伴い、都市部においても空き家や空き店舗などが不規則に発生する (97) (98) も問題となっている。一方、交通網の整備により、小さい都市から大都市へ人々や物資、企業の支店などが流出する (99) (100) と呼ばれる現象も見られる。また、都心部の環境悪化を受け、都市郊外の高速道路の出入口付近などに新しく商業施設やオフィスが集まる (101) (102) が形成されることもある。都市問題解決に向けた取り組みとして、使われなくなった水辺の倉庫街や工場跡地にオフィス街や商業施設を新しく建設する (103) (104) はその一例である。また、都市内部の混雑緩和のために、自家用車を郊外の駐車場に止め、そこから公共交通機関に乗り換えて都心に向かう (105) (106) なども取り入れられている。

都市は様々な機能を持っている。例えば、鉱山開発を契機に発展した都市は鉱業都市と呼ばれ、例として南アフリカの (107) (108) などがあげられる。また、貿易や商業などの機能が卓越した都市は交易都市や商業都市と呼ばれ、シリア南西部にある (109) (110) や、イラク中部にあるバグダッドなどは古くから交易の中心地として栄えた。一方、キャンベラのように首都機能を集める目的で建設された政治都市や、インド北東部のガンジス川中流に位置する (111) (112) などのような宗教都市もある。

都市機能の1つに観光もある。1950年代以降、所得の増加や交通の発達により、限られた富裕層以外にも観光旅行が拡大する (113) (114) の時代となった。1980年代に入ると観光の多様化が進み、農山村に滞在し、ありのままの自然や文化を楽しむ (115) (116) も登場した。一方、観光開発に伴う環境破壊が問題となり、その反省から持続可能な環境保全を主眼に置いた (117) (118) が誕生した。また、観光産業にも重要な要素として、文化や自然を保護・保全することを目的とした (119) (120) 条約があり、これは1972年のユネスコ総会で採択されている。

日本でも観光は重要な産業である。外国人観光客を自国に受け入れることを (121) (122) と呼ぶ。(エ)21世紀に入り観光立国を目指すことが宣言され、政府により外国人旅行者の誘致が進められた。それに伴い、外国人旅行者の入国管理なども緩和され、2015年には訪日外国人旅行者数が日本人の海外旅行者数を上回った。

問1 文中の空欄 (83) (84) ～ (121) (122) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

## 《語群》

- |                |              |                |
|----------------|--------------|----------------|
| 11 CBD         | 12 LRT       | 13 アウトバウンド観光   |
| 14 インナーシティ問題   | 15 インバウンド観光  | 16 インフォーマルセクター |
| 17 インフラストラクチャー | 18 ヴァラナシ     | 19 ウォーターフロント開発 |
| 20 エコシティ       | 21 エコツーリズム   | 22 エッジシティ      |
| 23 エルサレム       | 24 オーバーツーリズム | 25 観光ビザ        |
| 26 グリーンツーリズム   | 27 グローバルシティ  | 28 ケープタウン      |
| 29 港湾都市        | 30 コナーベーション  | 31 コンテンツ・ツーリズム |
| 32 コンパクトシティ    | 33 サテライト・タウン | 34 ストリートチルドレン  |
| 35 ストロー効果      | 36 スプロール現象   | 37 スマートシティ     |
| 38 世界遺産        | 39 世界ジオパーク   | 40 ダカール        |
| 41 ダマスカス       | 42 中心商店街     | 43 中枢管理機能      |
| 44 直轄市         | 45 ドーナツ化現象   | 46 都市のスポンジ化    |
| 47 都市の内部構造     | 48 内陸水路交通    | 49 パークアンドライド   |
| 50 ハイデラバード     | 51 バカンス      | 52 ハルツーム       |
| 53 プライメートシティ   | 54 ベイルート     | 55 ベッドタウン      |
| 56 ポトシ         | 57 マスツーリズム   | 58 メガロポリス      |
| 59 メディカル・ツーリズム | 60 メトロポリス    | 61 モーダルシフト     |
| 62 ヨハネスバーグ     | 63 ラムサール     | 64 リゾート        |
| 65 ロードプライシング制度 | 66 ワーキングホリデー | 67 ワシントン       |

問2 2018年の鉄鉱石の産出量の1位と2位の国を以下の語群より選び、1位の国を解答用紙 A (マークシート) の (123) に、2位の国を (124) に、それぞれマークしなさい。

- 《語群》
- |          |        |           |       |
|----------|--------|-----------|-------|
| 1 アルゼンチン | 2 インド  | 3 オーストラリア | 4 中国  |
| 5 チリ     | 6 ブラジル | 7 南アフリカ   | 8 ロシア |

問3 下線部 (ア) について、フランスのパリ旧市街地の外縁にある新都心 (副都心) は ( ) 地区と呼ばれる。空欄に当てはまる名称を、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

問4 下線部 (イ) について、アメリカやヨーロッパの大都市で見られる、所得水準や人種、民族ごとに居住地が分離されている現象を何というか。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

問5 下線部 (ウ) について、低所得層などが居住していた地域が再開発され、中・高所得層がその地域に流入することを何というか。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。

問6 下線部 (エ) について、観光立国宣言のもと、日本国政府が外国人観光客を日本に誘致する目的で、2003年に開始した観光促進活動を何というか。解答は、解答用紙 B の所定の欄にカタカナで書きなさい。